

教科	社会科	学年	2 年
----	-----	----	-----

(令和 7 年度)

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【使用教材・副教材、使用教室・指導形態】

- ◇地理教科書(帝国書院)、地図帳(帝国書院)
- ◇歴史教科書(東京書籍)、東京都版中学歴史資料集学び考える歴史(浜島書店)
- ◇共通：3 観点評価チェック 15 分 社会 2 年(明治図書)
- ◇各教室 ◇105 時間のうち、65 時間を地理、40 時間を歴史とする。

【評価の観点と資料】

観 点	評 価 規 準	評 価 資 料
知識・技能	社会的事象に関する有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追及し考察した過程や結果を適切に表現している。社会的事象の意義や特色、相互の関係を理解し、その知識を身につけている。	◇定期考査 ◇小テスト
社会的思考・判断・表現	社会的事象から問題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化をふまえて公正に判断している。また考察・判断した過程や結果を適切に表現している。	◇定期考査(主に論述問題) ◇宿題(税の作文等) ◇レポート
関心・意欲・態度	社会的事象に対する関心を深め、それを意欲的に追求し、より良い社会を考え、自覚を持って責任を果たそうとしている。	◇定期考査(主にニュース) ◇授業への取組(発言等) ◇宿題・ノート等提出物

【授業の進め方と学習のポイント】

- ① 日頃から忘れ物をせず、宿題などの提出物は、必ず提出期限を守る。
- ② 授業は受け身でなく、問いかけに反応したり、発言したりするなど積極的に参加する。
- ③ 単元の問いや、それを追究するためのテーマを意識し、調べ、スライドにまとめることができるようにする。そして、調べたりまとめたりする学習から、単元の問いに対して様々な視点や角度から考えて自分の意見を表現できるようにする。

【家庭学習のポイント】

- ① 日頃から新聞やテレビ番組などでニュースに親しむ。特に地理ではニュースで出た地名を地図帳で調べる習慣を付けると良い。
- ② 副教材等を活用して学習した問題は、答え合わせをしっかりと行い、特に間違えた箇所をはっきりさせる。(できなかった、間違えた部分は消さずに赤で直す)
- ③ テスト前は、副教材や小テストの問題を繰り返し解く。そして、調べ学習のまとめのポイントを教科書等で確認する。
- ④ 副教材「3 観点評価チェック 15 分」で、地理・歴史の復習をして定期考査や入試に備える。

【年間指導計画（地理的分野：年間65時間）】

月	時間	単元名	主に学習すること	学習のねらい
4月	3	2編 2章 世界の諸地域まとめ 地域	地形図の読図	地形図の読図を通して、 地域的特色を理解する。
5月	9	3編 1章 地域調査の手法		
6月	12	2章 日本の地域的特色 と地域区分	世界の地形・日本の 山地と海岸・川と平野・ 日本の気候・自然災害と 防災 世界の人口分布と変化 ・日本の人口と過疎・過 密問題 開発の進展と環境問題 ～自然環境、開発 資源とエネルギー農林 水産業・工業・商業・サ ービス業 グローバル化 交通・通信	日本の国土の位置及び領域の特色と変化 を世界的な視野から多面的・多角的に考 察し、日本の現状を位置と領域の面から 大観する。 世界的視野から見た日本の地域的特色 や、日本全体の視野から見た国内の諸地 域の特色を「自然環境」「人口」の観点 からとらえる活動を通して、日本の国土 の特色を大観する。 世界的視野から見た日本の地域的特色 や、日本全体の視野から見た国内の諸地 域の特色を「資源・エネルギーと産業」 「地域間の結び付き」の四つの観点から とらえる活動を通して、日本の国土の特 色を大観する。
7月	5	3章 日本の諸地域 1節 九州地方	自然とともに生きる人 々の暮らし	自然環境の成立条件を、地域の広がり や結び付き、人々の対応などに着目し て、他の事象やそこで生ずる課題と関 連付けて考察する。
9月	6	2節 中国・四国地方	交通・通信とともに変 化する人々の暮らし	交通・通信の成立条件を、地域の広が りや結び付き、人々の対応などに着目 して、他の事象やそこで生ずる課題と 関連付けて考察する。
10月	6	3節 近畿地方	都市・農村の変化と人 々の暮らし	人口や都市・村落の成立に着目して、 地域の広がりや結び付き、人々の対応 などに着目して、他の事象やそこで生 ずる課題と関連付けて考察する。
11月	6	4節 中部地方	活発な産業を支える 人々の暮らし	産業の成立条件を、地域の広がりや結 び付き、人々の対応などに着目して、 他の事象やそこで生ずる課題と関連 付けて考察する。
12月	5	5節 関東地方	さまざまな地域と結 び付く人々の暮らし	交通・通信の成立条件を、地域の広が りや結び付き、人々の対応などに着目 して、他の事象やそこで生ずる課題と 関連付けて考察する。

1月	5	6節 東北地方	伝統的な生活・文化を受けつぐ人々の暮らし	生活・文化の成立条件を、地域の広がりや結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連付けて考察する。
2月	5	7節 北海道地方	雄大な自然とともに生きる人々の暮らし	自然環境の成立条件を、地域の広がりや結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連付けて考察する。
3月	3	4章 地域の在り方	地域の将来像を提案する	中央区をより良い地域にするための課題を発見し、その解決策を提案する。

【年間指導計画（歴史的分野：年間40時間）】

月	時間	単元名	主に学習すること	学習のねらい
4月	2	2節 東アジア世界との関わりと社会の変動	東アジアのとの交流 産業の発達と民衆の生活 応仁の乱と戦国大名 室町文化とその広がり	南北朝の内乱をへて、守護大名が力をつけた理由をつかむ 民衆が成長していく過程や、仏教と文化の特色を理解する
5・6月	5	4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	織田信長・豊臣秀吉による統一事業 兵農分離と朝鮮侵略 桃山文化	ヨーロッパの文化の日本に与えた影響と、戦国時代からの流れと織豊政権の特色をつかむ
7・9月	5	2節 江戸幕府の成立の鎖国 3節 産業の発達と幕府政治の動き	江戸幕府の成立と支配のしくみ さまざまな身分とくらし 貿易の振興から鎖国へ 鎖国下の対外関係 農業や諸産業の発達 都市の繁栄と元禄文化 享保の改革と社会の変化 幕府政治の改革 新しい学問と化政文化	江戸幕府の支配のしくみをとらえる 鎖国までの流れをつかむ 外国船の渡来と内政の危機による幕府政治のゆきづまりをつかむ

			外国船出現と天保の改革	
10月	5			
11月	5	5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米の進出と日本の開国	近代革命の時代 産業革命と欧米諸国 ヨーロッパのアジア侵略 開国と不平等条約 江戸幕府の滅亡	近代ヨーロッパの動きとアジア諸国への影響について理解する 開国から攘夷、倒幕へのさまざまな動きを整理する
12月	5			
1月	2			
1・2月	8	2節 明治維新	新政府の成立 維新の三大改革 文明国をめざして 近代的な国際関係 民衆運動の高まり 立憲国家の成立 近代文化の形成	明治政府のとした中央集権づくりと外交をとおしてそのねらいをつかむ 大日本帝国憲法制定の過程をつかむ
3月	3			